



## 嘉手納外語塾生、ツアコン体験

第18航空団広報局

2013年1月24日、嘉手納外語塾生10名と嘉手納基地ボランティア8名は北谷町美浜のアメリカンビレッジ内で英会話交流を行いました。今回は外語塾の教室をとびだし、美浜にある店舗へ出かけ、外語塾生と米国人ボランティアがいくつかのグループを作り散策しました。鍋やすき焼きに使う調理器具、お正月用の花、日本の家庭でよく見かけるコタツなどこの時節に使うアレコレを、塾生が英語で説明しました。更に、日本人がこの季節どのように過ごすのかも紹介しました。美浜にある地元アーティストのギャラリーでは、作品を見学しながら塾生が説明を加えたり、足湯を体験しながら温泉文化を紹介したりと、盛り沢山な課外授業となりました。



## アンダーソン広報局長、嘉手納外語塾生へ「成功への鍵」を講話

第18航空団広報局

2013年2月7日、嘉手納基地第18航空団広報局長のクリストファー・アンダーソン少佐が嘉手納外語塾に招かれ、若い世代の塾生たちへ講話を行いました。はじめに自身の生い立ち、家族や米軍での生活について話し、将来の夢を目標として着実に進めるための「鍵」となる方法を話しました。

塾生たちの目指す職業をそれぞれ聞いたあと、アンダーソン少佐は「目標とする事を書き出し、それを常に目に見える場所に貼り、その目標を達成するために今後5年間で何をすべきか考え、



一つづつ終了するたびに消していくのです。その方法で、私は米軍で働きながら学士号と修士号を取得し、家を2軒購入する目標を達成することができました。毎日目につくところに目標を貼ると、現実的に向き合うことができる」と自らの経験を交えて説明しました。さらに、スペイン語を話すアンダーソン少佐は「言語能力や教育によって機会が大きく広がります。運だけで目標を達成することはできません。ある哲学者は“運とは努力した者に機会が訪れたときに起こるもの”という言葉を残しました。皆さんも努力を重ねて機会を掴み、それぞれの目標を成し遂げてほしいと思います」と話しました。



THANK YOU  
MAJ ANDERSON!



(写真提供：嘉手納外語塾)

## 沖縄市の専門学校生、嘉手納基地で英語を学ぶ

第18航空団広報局

2013年1月25日から2月1日まで、沖縄市にある専門学校日経ビジネスより学生17名が嘉手納基地で5日間英語を学ぶため研修を行いました。午前中は基地内の様々な部隊の施設見学や英語でのディスカッションを取り入れ、午後は空軍ボランティアとの英会話レッスンを設け一日4時間の研修を行いました。



(米空軍：ブルーク・ドイル上等兵撮影)



(米空軍：ブルーク・ドイル上等兵撮影)



さて、学生たちには様々な職場の見学をしてもらいました。その際、通訳は同行していません。施設見学では、5つのグループに分かれ、航空管制塔、航空機整備、スポーツジム、水道電気の整備施設、軍用犬訓練、クリニック（歯科や救急搬送業務施設）など、業務説明もありました。研修会の最終日、学生らは一人一人、体験から学んだことを英語で報告しました。英語スピーチの中で島袋麗美さんは「嘉手納基地に来る前は、空軍の軍人はみんな飛行機を操縦するような仕事をしていると思っていたが、電気管理や航空機整備、施設修繕など様々な職種があり、多くの日本人従業員も働いていることを知りました」と述べていました。

英会話レッスンでは、第18航空団に所属する5群よりボランティアが集まり、毎日テーマを変えて発音や対話練習を行いました。初日は自己紹介をはじめ家族や趣味などをお互いに説明し、2日目は接客業務の対話練習、3日目は沖縄の観光地

を学生からボランティアへ紹介、4日目は海外旅行で直面する英会話、という内容で行いました。当初は緊張していた学生たちも次第に会話を楽しめるようになり、笑顔で積極的に質問する様子も見られました。

ボランティアの一人として参加したデイビット・ハスキンス兵長は「学生達との英会話はとても楽しかった。このような交流の機会があれば是非また参加したい」と感想を述べました。第18整備群のボランティアを調整したフィリピン出身のニノー曹長は「私も英語は第2言語なので、学生達の気持ちが理解できました。自分の英語を学んだ経験を彼らと共有しながら、楽しみました」と話し、学生たちの奮闘ぶりを褒めていました。





現役高校生、デリースが教えてくれる  
嘉手納基地内学校情報あれこれ

PART 8

嘉手納基地広報局インターン生  
嘉手納ハイスクール3年 デリース・ダニエルズ著・編集

## National Honor Society (NHS) ●

ナショナル アーナー ソサイアティ (NHS) というクラブがカデナハイスクールにあります。NHSに入るにはいろいろな条件があります。そのためNHSに入る生徒の数も限られていて、およそ50名。メンバー募集も冬と春の二回のみです。

先ず、応募できる生徒は10年生（日本で言う高校3年生）以上。成績（GPA）が3.5以上であること。クラブに入る3か月前から16時間のボランティア活動を行っていること。この3つの項目を満たした生徒だけが応募できます。また、応募する際には作文を提出します。作文のテーマは毎年違います。

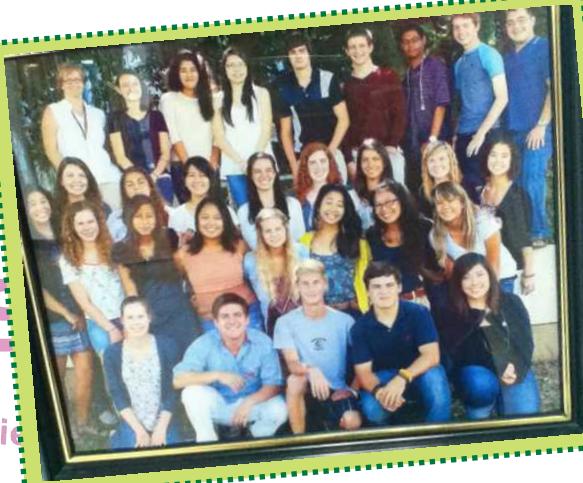
NHSに入ったからといってそれで終わりと言うわけではなく、その後いろいろな活動に励みます。まず年間40時間ものボランティア活動を行い、学業でも良い成績を保つことなどがメンバー維持の条件となっています。

NHSではボランティア活動を積極的に行うこと力を注いでいます、それは学校内外で行われます。校内では週の終わりに学校内を回って紙を集めリサイクルを行ったり、火曜日から木曜日には放課後図書館で他の生徒の宿題を教えたり、テスト勉強を手伝ったりします。学校外だと毎年秋に行われる嘉手納基地内のイベント、スペシャルオリンピックスに参加します。生徒たちは毎年10月になるとこのイベントを楽しみにしています。

さて、生徒達はなぜNHSに入りたがるのでしょうか？それはやはり、大学進学の際、奨学金取得に大きく影響します。将来のためにみんな頑張ってます！



National Honor S



Society

National  
National  
Honor  
Honor  
Society  
Society  
Honor Society

National Honor Society  
NHS

以上、デリでした。See you!

## F-22 機、嘉手納基地に再飛来



1月14日、在バージニア州ラングレー・ユースティス統合基地所属の第1戦闘航空団と州空軍第192戦闘航空団から、F-22A戦闘機が部隊派遣の一環として、嘉手納基地に12機飛来しました。



太平洋空軍地域安全計画に基づくアジアー太平洋地域への部隊派遣は、派遣される部隊に太平洋地域で訓練の機会を与えると同時に、米国の本地域における安定・安全への継続的な関与を示しています。F-22戦闘機は、太平洋軍管轄地域へ定期的に派遣されています。嘉手納基地への派遣は、西太平洋における米国太平洋軍の安全上の責務を果たし、嘉手納基地第18航空団の指揮下で訓練を行います。

1月15日、第18航空団司令官のマット・モロイ准将はキーストンシアターにて、派遣された250名の航空兵に対する挨拶の中で、嘉手納基地に派遣される期間中に、アメリカ人として親善大使として振舞うこと、そして地元社会の中で肯定的な役割を持つ大切さを強調しました。

第18航空団広報局

## ● 視察研修

### 2月の視察団体の紹介です。

- 法務省
- 大分県由布市防衛議員
- 河井克行衆議院外務委員長
- 航空自衛隊第1航空団  
上級飛行幹部課程（浜松基地）
- 国際ロータリークラブ第2580地区  
(東京 沖縄)
- 総務省自治税務局固定資産税課
- 航空自衛隊第3航空団 F-2戦技課程  
(三沢基地)
- その他団体



*Skoshi Kadena*, published by 18th Wing Public Affairs, Kadena Air Base Kadena Web Site: <http://www.kadena.af.mil> E-mail: [18wg.pa@kadena.af.mil](mailto:18wg.pa@kadena.af.mil)



Chief, 18th Wing Public Affairs Office: Major Christopher Anderson

Editors: Ms. Takako Fukuura, Mr. Hideaki Sakihama, Ms. Keiko Toma, Ms. Sayaka Kawatake, Ms. Makiko Miyara and Ms. Derrice Daniels  
Graphic Designer: Ms. Naoko Shimoji

*The Skoshi Kadena* is published monthly and is an authorized publication by 18th Wing Public Affairs in Kadena Air Base. Contents of the *Skoshi Kadena* are not necessarily the official views of or endorsed by the U.S. Government, the Department of Defense, or the Department of the Air Force. The editorial content is edited, prepared, and provided by the 18th Wing Public Affairs Office. All photographs are Air Force photographs unless otherwise indicated. Contents may not be reproduced, distributed, or translated without the prior written permission from the 18th Wing Public Affairs Office.

『スコシカデナ』は、嘉手納基地第18航空団広報局より毎月発行されている出版物です。編集内容は、第18航空団広報局により編集、準備、提供されています。掲載される内容は、米国政府、米国国防省または米空軍の見解・承認を必ずしも反映するものではありません。第18航空団広報局の書面による事前許可なしに、掲載写真や記事の無断転載を禁止します。